

## 特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。 問合せ 農林水産課



### ②7 愛媛県東温市



▶平成29年7月3日、  
加藤 章 東温市長 (右)  
と協定を締結

#### 東温市の特産品



もち麦・はだか麦



さくらひめ



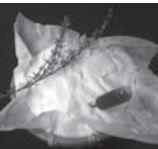
小富士超辛口



とら巻き



どぶろく



皿ヶ嶺の雪どけちーず



遠赤青汁



コスモダーツ



まるとっと

- 面積：211.3km<sup>2</sup>
- 人口：33,598人・14,919世帯（平成30年6月1日現在）
- 市の花：桜 ●市の木：ハナミズキ

東温市は、愛媛県の中央部に広がる松山平野の東部に位置し、平成16年9月21日に重信町と川内町が合併し、誕生しました。重信川が市の中央を流れ、うるおいあふれる水辺空間に恵まれるとともに、南部の皿ヶ嶺連峰県立自然公園は、東部の霊峰石鎚山系と連なり、豊かな自然と渓谷美に恵まれ、都市近郊田園都市として発展を続けてきました。

特産品は、米、麦、野菜、花き（さくらひめなど）、しきみがあり、特に、裸麦は全国一の生産量を誇る愛媛県でも有数の産地であり、また、平成20年3月に「とうおんブランドどぶろく特区」の認定を受け、東温市自慢の良質な米と松山平野・奥座敷の「清水」によるどぶろくの6次産業化を進めています。

泉ヶ丘の「桜会」の働きかけで、東佐野駅前に東温市の「陽光桜」をいただいたご縁で、協定締結となり、今年3月末には、泉佐野南部公園のオープン記念イベントで東温市と泉佐野市の中学生の選抜チームによるサッカー親善試合が行われました。

東温市は、将来を担う子どもたちが東温市に誇りを持ち続けることができる「小さくてもキラリと光る 住んでみたい 住んでよかった 東温市」に向けたまちづくりに取り組まれています。



- 面積：17.97km<sup>2</sup>
- 人口：90,359人・39,886世帯（平成30年6月1日現在）
- 市の花：梨 ●市の木：イチヨウ ●市の鳥：チョウゲンボウ

稲城市は、昭和46年11月1日に市制施行しました。東京都の多摩地域南部に位置する市で、里山や梨園などのなつかしい風景が広がる一方で、多摩ニュータウンの一角の街並みも併存するレトロとモダンな街並みが広がり、豊かな緑と多摩川、三沢川、大丸用水などの水にふれあうことができる環境とともに、都心から30分圏内という利便性も兼ね備えています。

特産品は梨が有名で、その他にもぶどう、ブルーベリー、キウイ、柿、みかんなどのフルーツが有名で、稲城市の商工会では、稲城の地域資源を活用して稲城らしさを表現した商品を地域認証ブランド「稲城の太鼓判」として認証しています。

また、JR南武線「稲城長沼駅」にあるいなぎ発信基地ペアテラス前には、市内在住の大河原邦男氏作のガンダムとザクの高さ3.6mのモニュメントが設置され、稲城に関する特産品や観光スポットなどの情報や魅力を発信しています。

稲城市は、豊かな水資源を活用して栽培される特産品の梨、遠景にのぞむことのできる緑地など、「水・緑に親しみ 人とふれあう生活都市 稲城」を目指してまちづくりに取り組まれています。



### ②8 東京都稲城市



▶平成29年7月5日、  
高橋勝浩 稲城市長 (左)  
と協定を締結

#### 稲城市の特産品



梨ワイン



梨



梨ジュース



お菓子



フィギュア



グッズ



お菓子



グッズ



ぶどう